

2018年11月2日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

「ライオンズクラブ国際協会335-A 地区」に社内表彰賞金 1 万ドルを寄付

ジブラルタ生命保険株式会社(本社 東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋)は、親会社であるプルデンシャル・ファイナンシャル(本社 米国ニュージャージー州ニューアーク)が創設した「坂口 陽史(さかぐち きよふみ)ゴールドン・ハート・メモリアル・アワード*1」の2018年度受賞者に山本 恵子(やまもと けいこ)エグゼクティブ・ライフプラン・コンサルタント(神戸支社 阪神第一営業所所属)が選定されたことを受け、同賞の賞金1万ドル(※)を、山本が寄付先として希望したライオンズクラブ国際協会335-A 地区*2(所在地 兵庫県神戸市、地区ガバナー 堀口 清隆)へ贈呈しました。

10月24日(水)、ホテルヒューイット甲子園で贈呈式が行なわれ、寄付金目録を受け取った、堀口地区ガバナーからは、「大変嬉しいお申し出であり心から感謝いたします。今回寄付いただいた1万ドルは、ライオンズクラブ国際財団を通じて、世界中の貧しい国々の子どもたちや、暴力を受けて傷ついている女性達を助けるため使われます。」と感謝の言葉が贈られました。

山本は今回の寄付金贈呈に際し、「日常的にボランティアを続けていくのは一人では難しいと感じます。これからも自身も加盟するライオンズクラブの皆さんと一緒に力をあわせて、ボランティア活動を継続していきたいと思っております。」とのメッセージを述べています。



[写真左] 堀口地区ガバナーに寄付金目録を手渡す山本



[写真右] 来賓参加者等で記念撮影

(※) 寄付金額について

1万USドルの賞金は、2018年9月25日時点の円・ドル為替レートで日本円に換算し、団体に寄付しております。日本円での寄付金額は1,128,800円となりました。

参 考 資 料

さかぐち きよふみ

*1「坂口 陽史ゴールドデン・ハート・メモリアル・アワード」について

賞名に冠されている坂口陽史(きよふみ)(故人)は、日本を含める 10 カ国で事業展開するプルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険部門の育ての親で、プルデンシャル生命保険株式会社の創業者です。

同賞は、世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャルが掲げる生命保険に対する理念、そしてお客さまに対する一生涯にわたる献身的なサービスの提供といった使命を、社員に伝承していくために 2002 年に創設されました。プルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険部門傘下の生命保険会社で、最も良き手本となった営業社員を各社ごとに毎年1名選定し、その榮譽を称えとともに、受賞者が希望する慈善団体に1万ドルを受賞者名で寄付します。

今回受賞した山本は、常にお客さまに焦点を合せた質の高いビジネスを追求している姿勢に加え、国際的なボランティア組織に所属し、日本赤十字社との献血活動・臍帯血バンクへの協力活動や、ライオンズクラブ国際協会への献金協力、難病支援活動として募金活動を行うなど、ボランティア意識も非常に高く、地域社会への積極的で多様な貢献活動が評価され、ジブラルタ生命全国の営業社員約 9,000 名の代表として選ばれました。

*2 ライオンズクラブ国際協会について

ライオンズクラブ国際協会は 46,000 のクラブと 140 万人以上の会員を擁する世界最大の奉仕クラブ組織です。同協会詳細等については、ホームページをご覧ください。